

いなげたけいわく



野菜づくりについて話す 鶴頭さんと小田川 清農業委員

鶴頭幸太郎さん (三刀屋町)

鶴頭さんは、島根県立農林大学校を卒業後、市内の農業関係の事業者へ勤務の傍ら、木次町内にある約70aのほ場で出荷用野菜を育てています。少量多品目栽培により、四季を通じて収穫したさまざまな野菜を、「たんびにきて家（道の駅さくらの里きすき）」、「木次とれたて市場（Aコープきすき店）」や「道の駅たたらば畠地」などの直売所へ出荷されています。

野菜づくりのこだわりのひとつに、病害虫の発生タイミングを研究し、夜間に虫除けをするなど、日々、試行錯誤しながら農業に取り組まれています。

「手間はかかるが野菜づくりは面白い」と話す鶴頭さん。今後は、専業で農業に取り組み、栽培期間中は農薬や化学肥料は使用しない有機農法により栽培した野菜を出荷していきたいとのことです。



新年のご挨拶

雲南省農業委員会 会長 加藤 一郎



新年あけましておめでとうございます。

日頃より、当委員会の活動に対してもご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて本市においても、高齢化や担い手不足による遊休農地の増加、夏場の異常高温による農作物への悪影響、イノシシやサルなどの有害鳥獣被害の増大のほか、さらには生産コストの増大を農畜産物へ価格転嫁ができない状況などが続いている。

農業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続きますが、いよいよ令和7年4月には、雲南省においても地域がめざす農地利用の姿を具体化する「地域計画」がスタートします。

農業委員会としましても、この計画策定にあたっては、農業者の皆さんからの意見もいただきながら、目標地図の素案作りを進めてきたところであります。

また、地域農業が持続的に発展し、安定的な経営につながっていくために必要な事項や施策の充実等の農業振興施策に関する意見を取りまとめ、雲南省へ意見書として提出したところであります。

本年も農業委員会の役割をしっかりと果たし、雲南省版「地域計画」の実現に向け、農地利用最適化の推進に取り組んでまいりますので、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



農地パトロールを終えて



農地パトロールの様子（海潮地区）

昨年10月初旬、海潮地区の農地パトロールを地域の農地利用最適化推進委員の方と3人で行いました。県道から分かれて谷筋に入つていくと、あちらにもこちらにも耕作できなくなつた土地が見受けられました。近年はインシシ対策の電気牧柵が張り巡らされ、その設置・管理だけをとつても手間のかかる作業が増えています。谷あいの2畝にも満たない狭い水田をきれいに耕作されているところもあれば、県道沿いの条件の良い場所でも1反を越えるほ場をどうにかこうにか草刈管理でしのいでいるような箇所もありました。

「農地利用の適正化」という言葉がありますが、「担い手への集積」は、厳しい条件を抱える山間部では容易なことではありません。子どもの頃は、ほとんどの農家が牛を飼つており、あぜの草はもちろん、道路沿いの草もきれいに草刈りされていましたが、昨今、牛のエサも必要なくなり、集落での草刈作業が大きな課題となっていました。

人口減少という時代の流れも相まって、ますます農地のありようも変わって来ると思います。折しも来年度に向けて中山間直払交付金や、多面的機能支払交付金の見直し時期に差し掛かっており、地域計画の作成作業も進みつつあります。10年後の農地がどうなつているかどうしたいのか、この冬の期間にじっくり考え、集落で話し合ってみることが大切かと思います。

（農業委員 佐藤正範）

令和6年度 農地利用状況調査（農地パトロール）結果

区分 町名	1号遊休農地 緑区分		2号遊休農地 (低利用農地)黄色区分		合 計	
	筆数	面積 (m ²)	筆数	面積 (m ²)	筆数	面積 (m ²)
大東町	0	0	0	0	0	0
加茂町	0	0	0	0	0	0
木次町	4	3,116	1	2,601	5	5,717
三刀屋町	2	1,558	0	0	2	1,558
吉田町	0	0	0	0	0	0
掛合町	0	0	0	0	0	0
合 計 (前年比)	6 (7)	4,674 (4,648)	1 (1)	2,601 (2,601)	7 (9)	7,275 (7,249)

1号遊休農地とは・・・現に耕作されておらず(1年以上にわたって耕作されておらず)、かつ引き続き耕作の目的に供されないと見込まれる農地（農地法第32条第1項第1号）

【緑区分】草刈りや耕起等で直ちに可能となる農地

【黄区分】基盤整備事業等の整備が必要となる農地



農地法の許可申請書、届出書の様式は左記二次元コードまたは下記URLに掲載しています。

<https://www.city.unnan.shimane.jp/unnan/sangyou/nougyou/nougyouinkai/2024-0813-1513-71.html>



「令和6年度農業者年金加入推進セミナー」が東京都で開催され、年金制度の詳細説明や加入推進に係る事例発表などがありました。特に、社会保険労務士からの令和6年の年金給付の財政検証結果と将来の見通しについて、テレビや新聞でも見聞きする「マクロ経済スライド」と「所得代替率」についての解説は、初めて聞くばかりでした。

また、大分県豊後大野市農業委

員会では、年金講座の開設や農業担当課からの制度周知などの工夫をされた結果、特に女性農業者の加入が増えた事例を発表され、大いに刺激を受けました。

国民年金だけでは老後の生活が厳しいとされるなか、雲南省でも今回の研修を参考にして、工夫しながら加入推進をしていかなければと感じました。

雲南省からは3人の女性委員が参加しました。

11/27

農業者年金加入推進セミナー

「しまね農業委員会女性協議会視察研修」が益田市で開催され、(農地利用最適化推進委員会)妹尾優子

継承に向けた取り組みなど、多くの意見や質問がありました。

今回参加して改めて広い視野を持ち、前に進んでいく努力を学んだ研修会になりました。

持ち、前に進んでいく努力を学んだ研修会になりました。

妹尾優子



▲しまね農業委員会女性協議会の皆さん

雲南省地域計画

法改正により、令和6年度中の地域計画の策定が義務付けられました。

雲南省の農業振興地域においても、高齢化や担い手不足の進行により、農業者が減少していく中で耕作放棄地が増加しないよう、10年後の地域における農地利用の姿を示した地域計画(目標地図)を市全体の計画に併せて市内30地域ごとの計画を作成しています。

今後、策定した計画は、3月までに公表(告示・縦覧)を予定しています。



地域の話し合いの様子

10月24日、雲南省農業振興施策に関する「意見書」を市長に提出しました。各委員が地域で活動する中で農業や農家を取り巻く現状や要望また、今後の農地の有効利用に向けた農業委員会活動や、農業振興施策の改善に向けた意見として次の項目別に提出しました。

- 農地などの利用の最適化の推進について
- 中山間地域における農業の継続について
- 農業委員会への活動支援について

農業者の皆様へ

地域計画策定後（4月以降）は、農地の貸借（売買）が次のとおりの方法に変更になります。

※3月までに、新たに契約されたり、更新されたりした農地の賃貸借は、これまでどおりとなります。

詳細は農業畜産課（TEL0854-40-1055）か農業委員会（TEL0854-40-1092）いずれかにお問い合わせください。

3月まで ①農地法第3条による許可

②相対による農地の貸借(農地利用集積計画による賃貸借)

③農地中間管理機構を介した農地の貸借



4月以降 ①農地法第3条による許可

②農地中間管理機構を介した農地の貸借

※農地法第3条に基づいた農業委員会の許可を受けて権利設定を行うことは引き続き可能です。



意見書提出の様子

意見書を提出しました



全国農業新聞

全国農業新聞を読みませんか？

毎週発行：月額700円（送料・税込み） 申し込みは農業委員会まで。



魚は極力島根県産を使用、野菜は雲南市内の農家から減農家から減農業野菜を直接仕入れ、野菜は雲南市内の農家から減農業野菜を直接仕入れ、旬のものを使った季節感を感じられる料理を提供されて

店名の「aube」(フランス語で夜明けの意味)は、オーナーシェフの多々納健寿さんが「新しい文化を始めよう」という思いを込めて名付けられました。「ナイフとフォークを使う、おしゃれで自慢できるお店が地元にもあつていいのでは」、「幅広い世代の人にフランス料理を食べてもらいたい」と開店当時からの思いを語られます。

「身土不二」をコンセプトに、肉魚は極力島根県産を使用、野菜は雲南市内の農家から減農業野菜を直接仕入れ、野菜は雲南市内の農家から減農業野菜を直接仕入れ、旬のものを使った季節感を感じられる料理を提供されて

aubeさんについてお届けします。8年前に加茂中駅の近くにオープンしたフランス料理のレストランです。

農業委員会の情報員メンバーの「ちょっとこれ、たべてみーだわ!」という商品を紹介していきます。

今日はこれ

うんなんの

うまいもん

シリーズ

木曜日にメニューからお好きなパンがおすすめの料理だそう。自家製パンと数種類から選べるハーブティーにも心躍ります。

自家製パンは、予約をすれば毎週木曜日にメニューからお好きなパンを購入できるほか、市内の産直やスーパーでも定期的に販売されています。

ぜひ、家族や友人と一緒に地元産のパンを使つたあいかがでしょ



▲魚のブイヤベース



▲マグレ鴨のロースト

営業時間：昼 11:30～14:30
夜 18:00～22:00
定休日：日曜日、祝日、他不定休
問い合わせ先：

住所：加茂町加茂中1300-1
TEL：0854-47-7459



▲Instagram



▲ホームページ

老後生活への
備えは十分ですか？



農業者の方は、国民年金の上乗せの公的な年金 「農業者年金」に加入して安心で豊かな老後を！

農業者なら誰でも入れる「終身年金」です！

一定の要件を満たす方には、月額最大1万円の保険料補助

35歳未満の方は1万円から加入可能！ ※要件有

加入で大きな節税効果！保険料は全額社会保険料控除の対象



詳しくは… 農業者年金基金

検索

<https://www.nounen.go.jp>



ご自分で簡単！
金額の試算はこちらから→

※詳しくは農業委員会かお近くのJAへ！

今年も異常な暑さが続く、猛暑を超えて酷暑というぐらいの暑さの中で、盆明けから稲刈りが始まりましたが、米の品質低下や地域によつてはカ梅シ被害が多発するなど大変だったと聞いています。その中でも米不足から米の販売価格は大きく高騰したことと、生産農家の皆さんにとって少し安心につながつたのではないかでしょうか。

今年も異常な暑さが続くかもしれません、農家の皆さんにとって良い年となることを祈っています。(M・T)

編集後記



空き農地バンク 登録状況

令和6年10月更新

◆大東町西阿用で新規登録がありました！

所在地	筆数	地目	所在地	筆数	地目
大東町大東	3筆	田1筆、畠2筆	木次町上熊谷	5筆	田2筆、畠3筆
大東町新庄	5筆	田3筆、畠2筆	木次町東日登	1筆	田
大東町下佐世	2筆	畠	木次町西日登	6筆	田4筆、畠2筆
大東町西阿用	8筆	田	木次町平田	8筆	田
大東町須賀	5筆	田	三刀屋町三刀屋	2筆	田

◆農業委員会ホームページで詳しい情報を公開しています



▲ホームページ
はちらから

ホームページからは農地の写真も確認できます。

貸したい方・借りたい方は、農業委員会へお問い合わせください。

【問い合わせ先】

農業委員会事務局
TEL 0854-40-1092